

## 第4期中期目標・中期計画の自己点検・評価について～令和5年度以降～

令和6年2月1日改訂

### 1. 中期目標・中期計画の策定

本学では第4期中期目標・中期計画の策定に向け、理事を中心に検討を行い、部局への意見照会、役員会等の議を経て令和3年7月に文部科学省へ中期目標・中期計画（素案）を提出した。令和4年1月には中期目標・中期計画（素案）からの変更箇所を反映した中期目標（原案）・中期計画（案）を提出、文部科学大臣から中期目標の提示（令和4年3月28日）、中期計画の認可（令和4年3月30日）がされている。

中期目標・中期計画を着実に実施するため、令和3年12月8日開催の理事懇談会において、進捗管理を含む自己点検・評価の在り方についてIR・評価機構で検討するよう依頼された。これを受けIR・評価機構では、より実質的かつ効果的なPDCAサイクルを機能させることを念頭に検討結果を令和4年1月5日に取りまとめた。その後、文部科学省から「国立大学法人の第4期中期目標期間の業務実績に係る実施要項（以下、「実施要項」という。）」が提示され、4年目・6年目終了時における評価の仕組みが明らかになった。この内容を踏まえ、より評価制度に沿う形で令和5年度以降の自己点検・評価の方法に更新することが必要である。

### 2. 自己点検・評価の概要

第4期中期目標期間においても4年目終了時評価が実施されることから、評価指標については4年目終了時に達成状況が確認できること又は達成することが見込まれることが確認できることが望ましい。このことを踏まえ、自己点検・評価を以下のように行う。

#### 進捗管理方法

- ・担当理事の責任の下、令和4年度から令和9年度までの中期計画の「実施計画」と「評価指標の補足説明」を令和4年6月までに策定にする。このうち「実施計画」については年に1回の見直しの機会を設ける。
- ・国立大学法人法の改正により年度評価が廃止されることから文部科学省へ年度計画の提出は求められないが、年度単位で「実施状況」及び「評価指標」を確認する。
- ・各部局は、中期目標・中期計画の達成に向けて互いに連携、協力する。

#### 自己点検・評価方法

- ・中期目標・中期計画・評価指標の自己点検・評価は、年に1回実施する。
- ・担当課・室は、「実施計画」及び「評価指標」に対する進捗状況を取りまとめるほか、「評価指標」の実績をもとに評価指標に対する自己評価を行う。
- ・IR・評価機構は、中期計画における「特に進捗している取組」、「次年度に向けて改善が必要な取組」を確認する。

- ・担当理事は、「実施状況」、「評価指標」及び IR・評価機構の意見をもとに中期計画に対する年度の理事評価を行う。また、評価結果を踏まえ必要に応じて次年度以降の「実施計画」の変更案を作成する。
- ・大学は、理事評価を参考に評価指標及び中期計画に対する年度の自己点検・評価結果を確定する。また、評価結果を踏まえ必要に応じて次年度以降の「実施計画」を変更する。
- ・自己点検・評価の結果は学内ライブラリやウェブサイトを通じて学内外に公表し、情報発信を行う。

### 3. 実施スケジュール

#### 【済】令和4年2月～3月

- ・担当課・室は、中期計画の「実施計画」、「評価指標の補足説明」（以下「実施計画等」という。）を作成する。

#### 【済】令和4年5月～6月

- ・IR・評価機構会議、役員会、教育研究評議会、経営協議会において実施計画等を審議する。

#### 【済】令和4年6月

- ・実施計画等を学内ライブラリに掲載する。

#### 毎年2月～4月

- ・担当課・室は、中期計画の「実施状況」、「評価指標の達成状況・実績」（以下「実施状況等」という。）を作成する。併せて次年度の実施計画の変更の有無を確認する。

#### 毎年4月～5月

- ・IR・評価機構は、中期計画ごとに「特に進捗している取組」及び「次年度に向けて改善が必要な取組」を抽出する。また、実施計画の変更がある場合は、併せて確認する。

- ・担当理事は、実施状況等及び IR・評価機構からの意見（「特に進捗している取組」及び「次年度に向けて改善が必要な取組」）をもとに中期計画に対する年度の理事評価を行う。また担当理事は、評価結果を踏まえ必要に応じて実施計画の変更案を作成する。

#### 毎年6月

- ・役員会、教育研究評議会、経営協議会において実施状況等及び実施計画（実施計画の変更がある場合）を踏まえた、自己点検・評価の結果及び、結果の公表について審議し、学長が決定する。

- ・自己点検・評価結果を学内ライブラリ及び大学ウェブサイトに掲載し公表する。

#### 4. 評価区分

評価区分は実施要項に基づき、評価指標は3段階、中期計画は5段階とする。

##### 【評価指標】

達成状況
「達成水準を大きく上回ることが見込まれる」(iii)
「達成水準を満たすことが見込まれる」(ii)
「達成水準を満たさないことが見込まれる」(i)

なお、評価指標の評価において、(ii)以外の評価とした場合は、その理由を付す。

※意欲的な評価指標((10)-1-2)については、達成水準を満たしていない場合でも、取組に係る進捗を踏まえたうえで達成状況を記載する。

##### 【中期計画】

評定	判断基準(目安)
実施計画(中期計画)を実施し、特に優れた実績を上げている(V)	全ての評価指標がii以上であり、実施計画(中期計画)を実施し、担当理事が特に認める場合
実施計画(中期計画)を実施し、優れた実績を上げている(IV)	全ての評価指標がii以上であり、実施計画(中期計画)を実施し、優れた実績・成果を上げていると判断される場合
実施計画(中期計画)を実施している(III)	全ての評価指標がii以上であり、実施計画(中期計画)を実施していると判断される場合
実施計画(中期計画)を十分に実施しているとはいえない(II)	1つ以上の評価指標がiであり、実施計画(中期計画)を十分に実施しているとはいえないと判断される場合
実施計画(中期計画)の実施が進んでいない(I)	1つ以上の評価指標がiであり、実施計画(中期計画)の実施が進んでいないと判断される場合

なお、中期計画の評価において、(III)以外の評価とした場合は、その理由を付す。

※1. 判断基準はあくまで目安であり、個々の評価指標の達成状況だけではなく、中期計画全体としての評価指標の達成状況、取組に係る進捗、各組織の諸事情等も勘案し、総合的に判断する。

※2. 意欲的な評価指標((10)-1-2)の達成基準を満たした場合は、ほかの評価指標の達成水準を満たした場合よりも高く評価するとともに、達成水準を満たしていない場合でも取組に係る進捗を確認した上で評価を行う。

様式 1-1

第4期中期目標・中期計画進捗管理表

管理番号 28	担当理事：評価	担当課：法人企画課
大区分	IV 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	
小区分		
中期目標	(15) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。⑳	
中期計画	(15) -1 教学・教員活動データや分析結果を一元的に把握できる体制を整備するとともに、そのデータ分析に基づいた自己点検・評価を実施することにより、教育研究の質の向上及び大学経営の改善につなげる。また、中期目標・中期計画の達成状況について自己点検・評価を実施する。【28】	
大学評価（自己点検・評価～令和5年度以降～）		
V 「実施計画（中期計画）を実施し、特に優れた実績を上げている」		令和4年度(※)
IV 「実施計画（中期計画）を実施し、優れた実績を上げている」		令和5年度
III 「実施計画（中期計画）を実施している」		令和6年度
II 「実施計画（中期計画）を十分に実施しているとはいえない」		令和7年度
I 「実施計画（中期計画）の実施が進んでいない」		令和8年度
		令和9年度
(※) 大学評価（自己点検・評価～令和4年度～） IV 「実施計画を上回って実施している」 III 「実施計画を十分に実施している」 II 「実施計画を十分には実施していない」 I 「実施計画を実施していない」		
令和4年度	(実施計画) 【法人企画課】 ① 教学データを一元的に把握できる体制を構築する。 ② 内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。 ③ 内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。 ④ 第4期中期目標期間の中期計画の実施計画及び評価指標の補足を策定する。また年度末に当該年度の中期計画の実施状況及び評価指標の実績を点検する。 ⑤ IRのテーマを確定し、年度内に分析結果をまとめる。	(実施状況) 【法人企画課】
令和5年度	(実施計画) 【法人企画課】 ① 中期目標・中期計画における令和4年度の実施計画に対する自己点検・評価を実施し、評価結果に基づき、必要に応じて自己点検・評価の対象年度の次年度以降の実施計画の変更を行う。 ② 教学データと教員活動データを一元的に把握できる体制を構築する。 ③ 内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。 ④ 内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。 ⑤ 令和5年度の中期計画の実施計画を見直す。また年度末に当該年度の中期計画の実施状況及び評価指標の実績を点検する。	(実施状況) 【法人企画課】

	⑥ IRのテーマを確定し、年度内に分析結果をまとめる。過去の分析結果についてフォローアップ調査を実施する。	
令和6年度	<p>(実施計画) 【法人企画課】</p> <p>① 中期目標・中期計画における令和5年度の実施計画に対する自己点検・評価を実施し、評価結果に基づき、必要に応じて自己点検・評価の対象年度の次年度以降の実施計画の変更を行う。</p> <p>② 内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。</p> <p>③ 内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。</p> <p>④ 令和6年度の中期計画の実施計画を見直す。また年度末に当該年度の中期計画の実施状況及び評価指標の実績を点検する。</p> <p>⑤ IRのテーマを確定し、教学・教員活動データを一元化したデータに基づき、年度内に分析結果をまとめる。過去の分析結果についてフォローアップ調査を実施する。</p>	<p>(実施状況) 【法人企画課】</p>
令和7年度	<p>(実施計画) 【法人企画課】</p> <p>① 中期目標・中期計画における令和6年度の実施計画に対する自己点検・評価を実施し、評価結果に基づき、必要に応じて自己点検・評価の対象年度の次年度以降の実施計画の変更を行う。</p> <p>② 内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。</p> <p>③ 内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。</p> <p>④ 令和7年度の中期計画の実施計画を見直す。また年度末に当該年度の中期計画の実施状況及び評価指標の実績を点検する。</p> <p>⑤ IRのテーマを確定し、教学・教員活動データを一元化したデータに基づき、年度内に分析結果をまとめる。過去の分析結果についてフォローアップ調査を実施する。</p>	<p>(実施状況) 【法人企画課】</p>
令和8年度	<p>(実施計画) 【法人企画課】</p> <p>① 中期目標・中期計画における令和7年度の実施計画に対する自己点検・評価を実施し、評価結果に基づき、必要に応じて自己点検・評価の対象年度の次年度以降の実施計画の変更を行う。</p> <p>② 内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。</p> <p>③ 内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。</p> <p>④ 令和8年度の中期計画の実施計画を見直す。また年度末に当該年度の中期計画の実施状況及び評価指標の実績を点検する。</p> <p>⑤ IRのテーマを確定し、教学・教員活動データを一元化したデータに基づき、年度内に分析結果をまとめる。過去の分析結果についてフォローアップ調査を実施する。</p>	<p>(実施状況) 【法人企画課】</p>

令和9年度	<p>(実施計画) 【法人企画課】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 中期目標・中期計画における令和8年度の実施計画に対する自己点検・評価を実施し、評価結果に基づき、必要に応じて自己点検・評価の対象年度の次年度以降の実施計画の変更を行う。</li><li>② 内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。</li><li>③ 内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。</li><li>④ 令和9年度の中期計画の実施計画を見直す。また年度末に当該年度の中期計画の実施状況及び評価指標の実績を点検する。</li><li>⑤ IRのテーマを確定し、教学・教員活動データを一元化したデータに基づき、年度内に分析結果をまとめる。過去の分析結果についてフォローアップ調査を実施する。</li></ol>	<p>(実施状況) 【法人企画課】</p>
-------	--	---------------------------

評価指標の実績

1. 評価指標の達成状況

評価の区分	iii 「達成水準を大きく上回ることが見込まれる」				
	ii 「達成水準を満たすことが見込まれる」				
評価指標	i 「達成水準を満たさないことが見込まれる」				
	達成状況				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
(15)-1-1					
(15)-1-2					

2. 評価指標の実績（個別）

評価指標（目標値）	区分	補足説明	担当課
(15)-1-1 点検・評価の結果に基づく改善を6年間累計で50件以上行う	定量	内部質保証体制による自己点検・評価の結果に基づく改善。	法人企画課
令和4年度		28件 《内訳》 改善計画に基づく改善：25件、自発的な改善：3件	
令和5年度		《内訳》	
令和6年度		《内訳》	
令和7年度		《内訳》	
令和8年度		《内訳》	
令和9年度		《内訳》	
累計値	28件	【参考】評価指標の基準値（R3年度末）	●件
評価指標（目標値）	区分	補足説明	担当課
(15)-1-2 IRの結果に基づく改善を6年間累計で6件以上行う	定量	IRの分析結果のフォローアップによる改善を確認する。	法人企画課
令和4年度		2件 《内訳》 ・テレワーク勤務関係規則の一部改正 ・成果を中心とする実績状況に基づく予算配分	
令和5年度		《内訳》	
令和6年度		《内訳》	
令和7年度		《内訳》	
令和8年度		《内訳》	
令和9年度		《内訳》	
累計値	2件	【参考】評価指標の基準値（3期平均）	●件

## 第4期中期目標・中期計画進捗報告書（令和●年度）

管理番号 28	担当理事：評価	担当課：法人企画課
大区分	IV 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	
小区分		
中期目標	(15) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。⑳	
中期計画	(15)-1 教学・教員活動データや分析結果を一元的に把握できる体制を整備するとともに、そのデータ分析に基づいた自己点検・評価を実施することにより、教育研究の質の向上及び大学経営の改善につなげる。また、中期目標・中期計画の達成状況について自己点検・評価を実施する。【28】	
評価の区分・判断基準	評定	評価基準（目安）
	V「実施計画（中期計画）を実施し、特に優れた実績を上げている」	全ての評価指標がii以上であり、実施計画（中期計画）を実施し、担当理事が特に認める場合
	IV「実施計画（中期計画）を実施し、優れた実績を上げている」	全ての評価指標がii以上であり、実施計画（中期計画）を実施し、優れた実績・成果を上げていると判断される場合
	III「実施計画（中期計画）を実施している」	全ての評価指標がii以上であり、実施計画（中期計画）を実施していると判断される場合
	II「実施計画（中期計画）を十分に実施しているとはいえない」	1つ以上の評価指標がiであり、実施計画（中期計画）を十分に実施しているとはいえないと判断される場合
I「実施計画（中期計画）の実施が進んでいない」	1つ以上の評価指標がiであり、実施計画（中期計画）の実施が進んでいないと判断される場合	
理事評価	【判断理由】	
IR・評価機構コメント	(特に進捗している取組) (次年度以降に向けて改善が必要な取組)	
<資料> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	※資料有の場合は、資料名等を記載	

実施計画	実施状況
(実施計画) 【法人企画課】 ①教学データを一元的に把握できる体制を構築する。 ②内部質保証体制により自己点検・評価を実施する。 ③内部質保証体制で把握した課題の進捗状況を確認することにより教育研究活動等の改善状況を確認する。 ④第4期中期目標期間の中期計画の実実施計画及び評価指標の補足を策定する。また年度末に当該年度の中期計画の実実施状況及び評価指標の実績を点検する。 ⑤IRのテーマを確定し、年度内に分析結果をまとめる。	(実施状況) 【法人企画課】 (センター改組による教学IRの検討開始) ①令和4年10月に教育系3センター(大学教育創造センター・アドミッションセンター・学生総合支援センター)を統合した「学び創造センター」を設置した。同センターの設置により、入学前から卒業まで一貫した質保証による創造的で持続可能な学びを実現するために教育体制の強化を実現した。 同センターでは、教学IRの具体的構想を検討するための教学IRWGミーティングを始動させ、学務・入試・就職にかかる教学データの集約方法・項目や、集約した教学データの活用等について検討を開始した。  ~略~



様式2-2

## 評価指標の実績（令和●年度）

## 1. 評価指標の達成状況

評価の区分	iii 「達成水準を大きく上回ることが見込まれる」 ii 「達成水準を満たすことが見込まれる」 i 「達成水準を満たさないことが見込まれる」		
評価指標	年度	達成状況	達成状況の判断理由
(15)-1-1	令和5年度		
(15)-1-2	令和5年度		

## 2. 評価指標の実績（個別）

評価指標（目標値）	区分	補足説明	担当課
(15)-1-1 点検・評価の結果に基づく改善を6年間累計で50件以上行う	定量	内部質保証体制による自己点検・評価の結果に基づく改善。	法人企画課
令和5年度		○件 《内訳》 【今後の予定】	
累計値	●件	【参考】評価指標の基準値（ ）	●件
評価指標（目標値）	区分	補足説明	担当課
(15)-1-2 IRの結果に基づく改善を6年間累計で6件以上行う	定量	IRの分析結果のフォローアップによる改善を確認する。	法人企画課
令和5年度		○件 《内訳》 【今後の予定】	
累計値	●件	【参考】評価指標の基準値（ ）	●件